

第22回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 学術大会出展レポート

日本介護食品協議会では、平成28年度のユニバーサルデザインフード普及活動事業の一環として本学会の企業展示に出展しました。本学会の来場者属性は、摂食嚥下のリハビリテーションに関わる医師、歯科医師、看護師、言語聴覚士、作業療法士、歯科衛生士、栄養士など多職種にわたることから、介護食品業界にとっては製品の周知機会として非常に重要な学会との位置づけです。

したがって、会員企業は20社（アサヒグループ食品(株)、カセイ食品(株)、キッセイ薬品工業(株)、キューピー(株)、(株)クリニコ、大和製罐(株)、(株)タカキヘルスケアフーズ、日清オイリオグループ(株)、日東ベスト(株)、日本ケアミール(株)、ハウス食品(株)、(株)フードケア、(株)ふくなお、ヘルシーフード(株)、ホリカフーズ(株)、(株)マルハチ村松、マルハニチロ(株)、三島食品(株)、(株)明治、(株)ヤヨイサンフーズ）と多数が出展し、各社ユニバーサルデザインフード製品の試食およびサンプリングを通じて積極的に紹介を行いました。

協議会小間では、各社製品のサンプリングとともに、今般のUDFマーク表示変更（表示から区分数値（区分1～4）を削除し区分形状（「容易にかめる」など）のみの表示に切り替えを行う件、9月号掲載）について、リーフレットやパンフレットを配布し周知を促しましたが、混乱もなくむしろ「より分かりやすい」との賛同のご意見を多くいただいたところでした。今般の表示変更がより良い判断であったことが確認できました（本学会でのユニバーサルデザインフードの認知率は非常に高い（平成22（2010）年同学会調査での認知率は77%。同年缶詰時報 Vol.89, No.12にて報告）。

この他、協議会では一般口演において「ユニバーサルデザインフード（UDF）における「美味しさ」と「食べやすさ」の関連性検証」のタイトルで研究

成果を発表いたしました。これは、技術委員会が主導した日本大学短期大学部との共同研究事業においてまとめた成果となります。演者は同学助教の岩崎裕子先生におつとめいただきました。

会期：平成28年9月23日（金）・24日（土）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
（新潟市）

来場者数：約5,900名（主催者発表）



【会議、催事等の予定】

12月8日（木）第4回業務用WG（缶詰協会会議室）

【UDF商品登録状況（1,839品目・10月末現在）】

| | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | とろみ調整 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 乾燥食品 | 0 | 0 | 14 | 0 | 84 | 98 |
| 冷凍食品 | 289 | 218 | 624 | 33 | 0 | 1,164 |
| 常温食品 | 120 | 148 | 201 | 107 | 1 | 577 |
| 合計 | 409 | 366 | 839 | 140 | 85 | 1,839 |

【会員の異動（10月）】

計70社（10月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>